

(1) セッション名

「コンタミネーション管理技術」

(2) オーガナイザ (提案者・責任者)

氏名 木本 雄吾

所属 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門

連絡先 kimoto.yugo@jaxa.jp

Tel. 050-3362-7917

(3) OS の目的・概要

宇宙機のコンタミネーション管理技術に関する最新の状況に関する情報交換を行い、コンタミネーション管理技術の研究の加速化に貢献する。

近年、宇宙機の高性能化に伴いコンタミネーション管理技術が益々重要になっているものの、日本における対応は遅れていると言わざるを得ない。コンタミネーション管理に関わるステークホルダが一致して問題解決に当たる必要がある。そのため、このような場において研究成果の共有化をはかることには大きな意義がある。本セッションは過去に第 52 回 (2008 年)、第 53 回 (2009 年)、第 55 回 (2011 年)、第 57 回 (2013 年) 宇宙科学技術連合講演会で企画され、それぞれ 7 件、8 件、8 件、8 件の発表が行われた。

本セッションでは、宇宙機のコンタミネーション管理活動の内容、及び関連基礎実験、解析計算結果等をはじめとした最新の技術トピックを紹介する予定である。

(4) 発表件数、セッション数

20 分講演 × 現時点 9 件

(5) 各発表のタイトルと代表著者、共著者の名前と所属
司会者 木本雄吾 (JAXA 研究開発部門) (時間については想定)

9:00~9:20

ASTRO-H のコンタミ対策のまとめ (仮)

○堂谷忠靖 (JAXA/ISAS)

9:20~9:40

TBD

○宮崎英治 (JAXA)

9:40~10:00

Solar-B 飛翔中装置の感度変化 (仮)

○原 弘久 (国立天文台)

10:00~10:20

SPICA のコンタミネーション管理 - リスク低減活動の成果- (仮)

○磯部直樹 (ISAS/JAXA) ほか SPICA コンタミネーション WG

10:20~10:30 休憩

司会者 宮崎英治 (JAXA 研究開発部門) (仮)

10:30~10:50

帯電防止用梱包材から放出されるコンタミネーション物質の調査

○小藏将斗、馬場勸、大塚紀子 (株式会社エイ・イー・エス)

10:50~11:10

衛星保管・試験環境下での粒子捕集とその散乱特性評価

○伊藤信成 (三重大大学)

11:10~11:30

ベーキング効果 (仮)

○沼田治 (JAXA)

11:30~11:50

アウトガス特性変更に伴う汚染影響の評価 (仮)

○馬場尚子 (JAMSS)

11:50~12:10 休憩

司会者 木本雄吾（JAXA 研究開発部門）（時間については想定）

12:10～12:30

連続回転駆動する機構からのアウトガス（仮）

○清水敏文、渡邊恭子他（仮）

（6）その他（一般の講演者の追加を受け入れるか、実行委員会への要望、等）：

- ・一般の講演者の追加を受け入れる。
- ・10月7日（水）午前からの時間帯を希望